

【はじめに】

2020年初めから社会全体に大きな影響があった新型コロナウイルス感染症が2023年5月以降5類対応となりその対応も変わりましたが、その後も陽性患者数は多く医療現場でのコロナ対応は継続しています。コロナ禍のもと社会全体でとられてきた感染防止策が徐々に緩和されたことで2023年夏には各種感染症が爆発的に流行し小児を中心に患者数の大幅な増加、病床の不足など大きな混乱がみられ当院でも救急医療、小児医療などに大きな影響がありました。感染対策室では2021年から専従の感染管理認定看護師2名体制が在勤し感染対策を強化する活動を継続しています。当院には感染制御チーム(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)があり院内感染の防止と対策、感染症治療の支援を行っており、全職員に対して年2回の研修を実施しています。また当院は感染対策向上加算1の施設基準認定をうけており他の認定施設との定期的な相互チェック、複数の医療機関、クリニック、保健所、医師会と連携してカンファレンスの開催、新興感染症発生を想定した訓練など多くの活動を行っています。今回のコロナ対応で医療現場では多くの未経験の事態への対応をしてきましたが、その経験をふまえて今後も体制を整備して日常の感染対策、活動を継続することで常にステップアップの努力をしたいと思えます。

【部門目標・評価】

1 目標

感染管理に関する院内全員の知識・意識の向上をめざし、受講率を100%にする。

2 評価

全体研修はeラーニングでの受講とした。未受講者に対して院内メールや口頭での声かけ等で再三受講するよう促したが、最終的に受講率は第1回目、第2回目とも100%を達成することはできなかった。実践に生かせる内容、興味をもてる内容のテーマ設定を心がけているが、研修内容の理解度について評価も含め、目標達成できるよう努力していく。

【業務体制・スタッフ】

役職名等	資格・業務など
感染対策室長	院内感染管理者 感染対策委員会委員長（兼任）
副感染対策室長	感染管理認定看護師（専従）
主任看護師	感染管理認定看護師（専従）
薬剤部長	薬剤師（兼任）
主任臨床検査技師	感染管理認定臨床微生物検査技師（兼任）

【研修実績】

令和5年度 感染管理研修					
分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講人数
必須研修	第1回 感染対策研修	あなたも今日から手指衛生マスター	8月～9月	全職種	541名 (99.6%)
	第2回 感染対策研修	Clostridioides difficile 毒素産生菌株 特徴と注意事項	1月～2月	全職種	521名 (98.5%)
感染管理教育	第1回 抗菌薬研修	入院患者が発熱した時のアプローチ	7月～8月	医師 看護師 薬剤師 検査技師	459名 (99.6%)
	第2回 抗菌薬研修	抗菌薬の適正使用	2月～3月	医師 看護師 薬剤師 検査技師	439名 (97.8%)
感染管理教育	新採用者 オリエンテーション	医療関連感染防止における当院の取り組み 海浜病院の感染予防策について	4月	新採用者	107名
	新採用者 オリエンテーション	N95マスク フィットテスト (フィッティングテスターを使用)	4月	2023年度新採用者 医師 看護師 リハスタッフ	68名
	中途採用者 オリエンテーション	海浜病院の感染予防策	9月 2月	中途採用者	5名
	アシスタント会研修	みんなで知ろう！感染対策	8月(4回)	派遣ナースエイド 看護アシスタント 保育士	49名
	4階病棟研修	カルバペネマーゼ産生菌とは	9月(2回)	4階病棟看護師・介護福祉士	12名
	アシスタント会研修	標準予防策について	11月 12月	看護アシスタント 保育士 派遣ナースエイド 看護クラーク	31名
	看護部アドバンス研修	感染管理(2回シリーズ)	2月	チャレンジレベルⅡ以上の看護師で受講希望する者	6名

【総括】

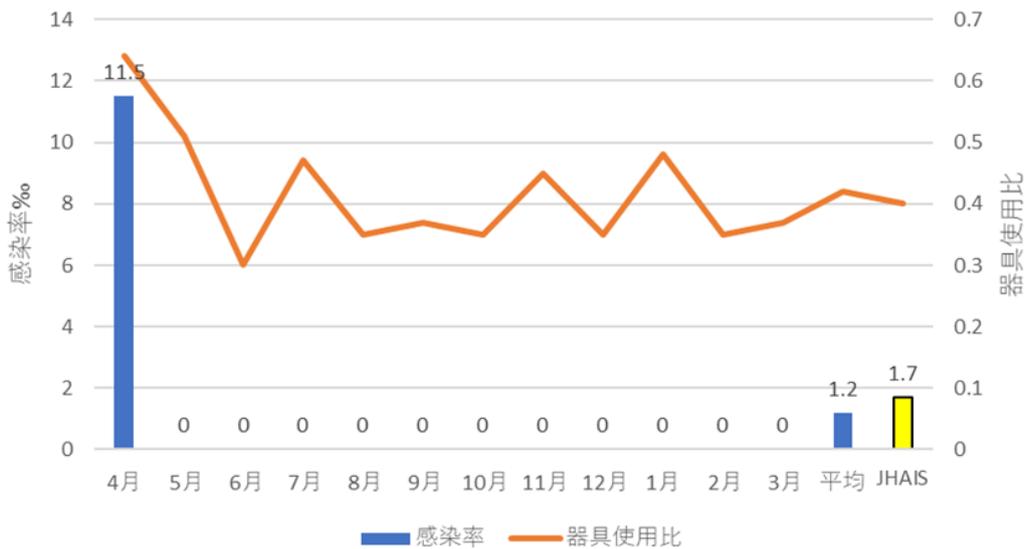
2023年度は、感染症法が変更され、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へと位置づけられました。そのため、新たにマニュアルを改正し現場へ周知しました。感染症法が変更されても、患者や職員の新型コロナウイルス感染症の発生がなくなったわけではなく、周辺の施設からの診察依頼や患者自身の熱源不明による入院は継続し、対応に追われていました。現在は現場の判断で入院調整や感染対策は任せられるようになりましたが、病院の水際対策として面会制限は続いています。

今後も、新たな新興感染症がいつ発生しても、病院全体で対応できるように、職員への知識・意識の向上は継続していきたいと考えています。

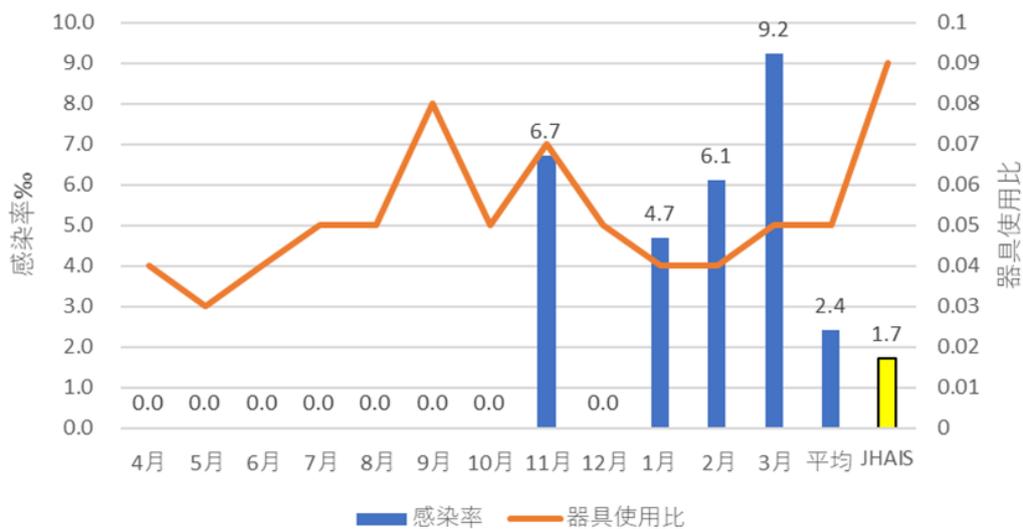
【デバイスサーベイランス】

2023年度 中心ライン関連血流感染サーベイランス

中心ライン関連血流感染 ICU



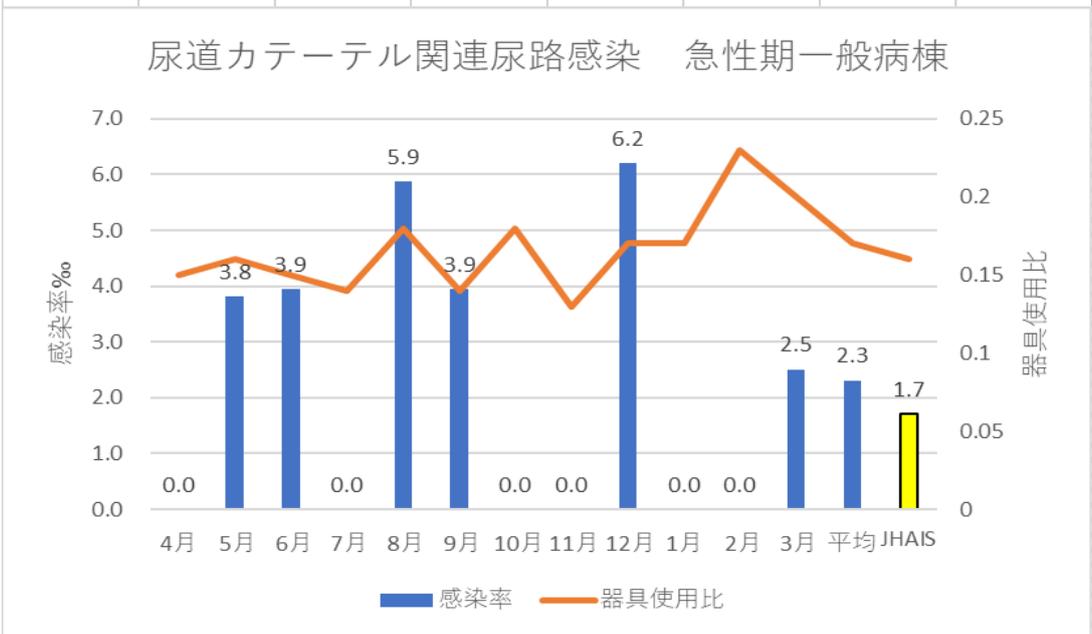
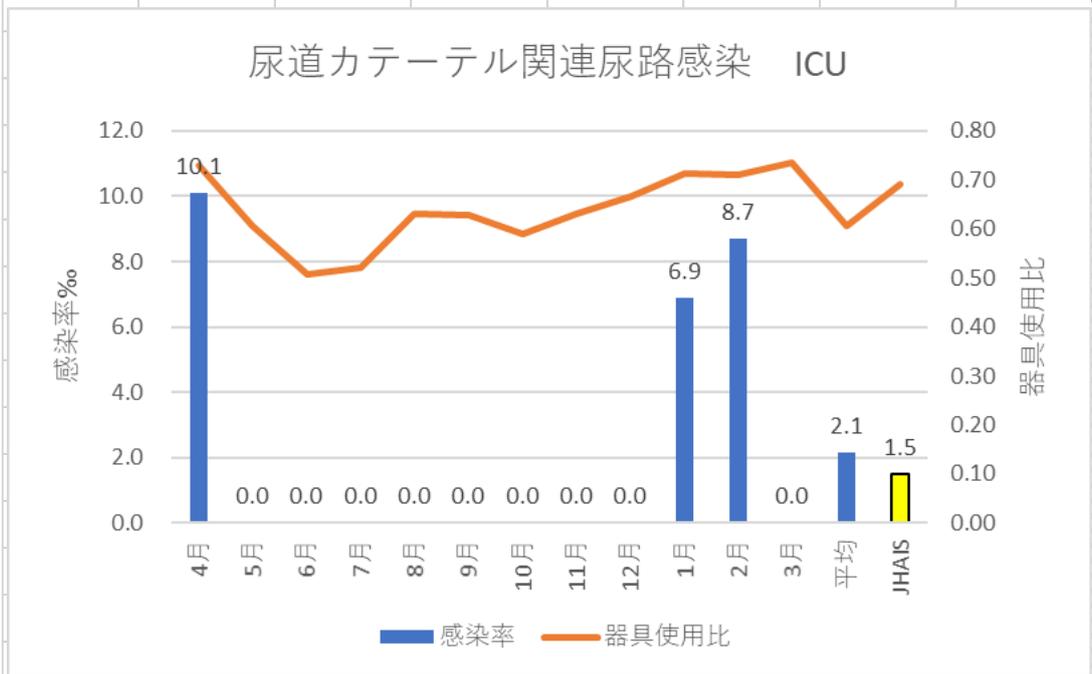
中心ライン関連血流感染 急性期一般病棟



JHAIS 2020/1/1~2022/12/31

		平均	パーセンタイル				
			10%	25%	50%	75%	90%
クリティカルケア	感染率	1.7	0	0.4	1.3	2.2	3.6
	器具使用比	0.4	0.11	0.26	0.41	0.61	0.7
急性期一般病棟	感染率	1.7	0	0	1	2.4	3.9
	器具使用比	0.09	0.01	0.02	0.06	0.11	0.19

2023年度 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス



JHAIS 2020/1/1~2022/12/31

		平均	パーセンタイル				
			10%	25%	50%	75%	90%
クリティカルケア	感染率	1.5	0	0.5	1.1	2	4.1
	器具使用比	0.69	0.39	0.58	0.79	0.88	0.92
急性期一般病棟	感染率	1.7	0	0.5	1.3	2.4	3.8
	器具使用比	0.16	0.06	0.1	0.15	0.21	0.26

【SSI サーベイランス】

2023年 千葉市立海浜病院 SSIサーベイランス

術式	内視鏡	海浜病院			集計対象医療機関 全体のSSI発生率
		手術件数	SSI件数	SSI発生率	
APPY	無	2	0	0.0	6.7
	有	65	8	12.3	3.9
BILI-L	/	4	1	25.0	6.4
BILI-PD	/	3	1	33.3	24.5
BILI-O	/	6	5	83.3	14.2
CHOL	無	2	0	0.0	5.1
	有	102	11	10.8	2.1
COLO	無	21	6	28.6	12.5
COLO	有	54	7	13.0	5.3
GAST-D	無	1	0	0.0	9.2
	有	17	2	11.8	5.5
GAST-T	無	2	0	0.0	11.6
	有	4	0	0.0	9.2
GAST-O	無	3	0	0.0	10.7
	有	7	0	0.0	4.5
HER	/	251	6	2.4	0.8
REC	無	4	3	75.0	14.8
	有	25	2	8.0	9
SB	/	16	2	12.5	11.6
XLAP	/	14	1	7.1	6.1
合計平均		603	55	9.1	

当院のSSIサーベイランス対象手術

APPY：虫垂の手術

BILI：胆道再建を伴わない肝切除、 膵頭十二指腸切除、 肝胆膵手術

CHOL：胆嚢の摘出・切開

COLO：大腸の切開・切除・吻合

GAST：幽門側胃切除、B I・B II再建、胃全摘、胃の切または切除

HER：鼠径部・大腿部・臍または前腹壁のヘルニアの修復

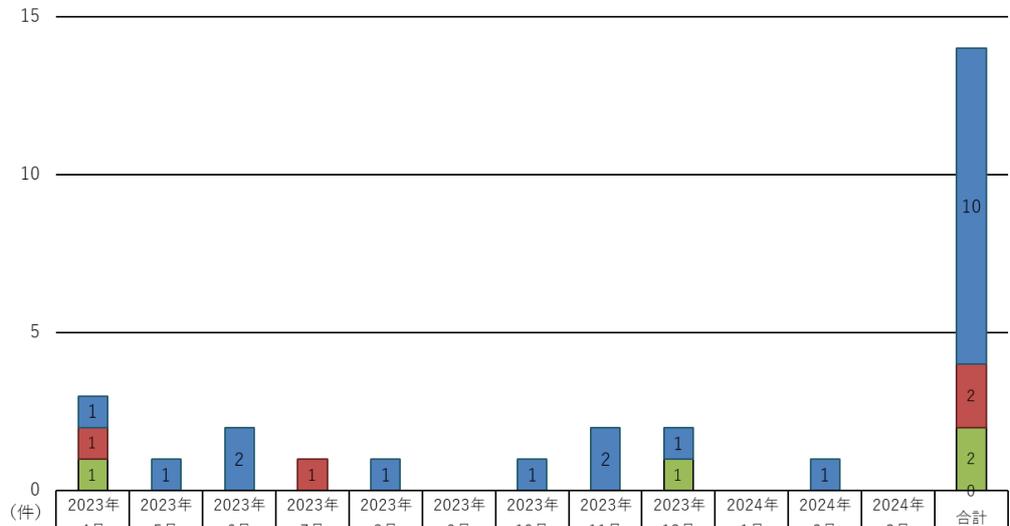
REC：直腸の手術

SB：小腸の切開・切除

XLAP：消化管や胆道系を操作しない腹部手術

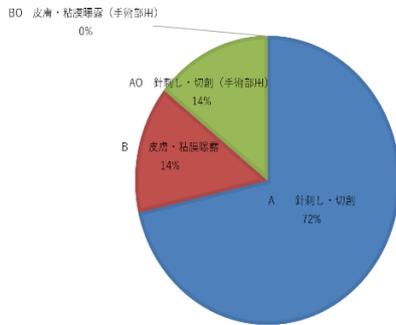
【針刺し切創、皮膚粘膜曝露報告】

2023年度 針刺し切創・皮膚粘膜曝露件数



	2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月	合計
■A 針刺し・切創	1	1	2		1		1	2	1		1		10
■B 皮膚・粘膜曝露	1			1									2
■AO 針刺し・切創 (手術部用)	1								1				2
■BO 皮膚・粘膜曝露 (手術部用)													0

2023年度 汚染事故の内訳



2023年度 針刺し切創・皮膚粘膜曝露 職種別割合

